



3 はじめに

参頭アブストラクション 3Mix-MP療法の世界──こんなこともできる!!



19 第1章 LSTR 3Mix-MP療法導入のための基礎知識

- 20 **I** 治療成功のためのLSTR 3Mix-MP療法の理解 LSTR 3Mix-MP療法とは
- 21 I LSTR 3Mix-MP療法の特徴
- 21 ① う蝕治療、歯内治療に人工的な除菌作用(3Mix-MP)が必要な理由
- 22 ② 3Mix-MPとその利点
- 25 ③ 病巣組織を意識的に残す
- 25 ④ 治療後、経過を見る一病巣組織の修復を待つ間、病巣の無菌状態を維持する
- 27 症例Ⅱ-4-1 再石灰化による露髄部の閉鎖
- 27 ⑤ 治療後すぐに病巣の修復が完了するわけではない
- 29 症例Ⅱ-⑤-1 上顎第1小臼歯部の根尖病巣
- 29 **⑥** 3Mix-MP療法の特徴を活かすために
- 30 ◆コラム:関連事項の理解のために
 - ●エナメル質う蝕 ●象牙質う蝕とLSTR 3Mix-MP療法
 - ●歯髄の病変とLSTR 3Mix-MP療法 ●可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎
 - ●いわゆる「感染根管」と「根尖性歯周炎(本書では根周病変と称する)」とLSTR 3Mix-MP療法
- 34 **Ⅲ 3Mix-MP療法でできること**
- 34 (1) 軟化象牙質の再石灰化
- 34 症例Ⅲ-①-1 軟化象牙質の再石灰化
- 35 症例Ⅲ-①-2 上顎犬歯の自発痛+歯髄炎の症例
- 35 ② 歯髄をいじらずに歯髄炎治療:歯髄炎の起こっている歯髄を保存する 一歯髄を救う(自発痛のある症例も例外ではない!) —
- 37 症例Ⅲ-②-1 6の仮性露髄、自発痛の歯髄炎症例
- 38 症例Ⅲ-②-2 4の持続性自発痛の歯髄炎症例
- 38 ③ 根周病変 (歯根膜炎、歯槽骨吸収病変) の治療―患歯の無菌化を図ればー
- 41 症例Ⅲ-③-1 補綴物を外さずに3mix-MP療法(下顎第1大臼歯)
- 3 症例皿-③-2 従来法による感染根管治療、一見完璧な根管治療だが、根管の1つを見出せず、 再発を繰り返していた治療困難歯症例(上顎第1大臼歯)
- 43 症例Ⅲ-③-3 狭窄根管症例(上顎第1大臼歯)

- 44 症例Ⅲ-③-4 リーマー破折症例
- 45 症例Ⅲ-(3)-5 歯根膜への穿孔(下顎第1小臼歯)
- 46 症例Ⅲ-③-6 歯根膜への穿孔(さらに根分岐部病変)
- 47 ④ 歯根破折歯を救う
- 47 症例Ⅲ-4-1 完全縦裂症例
- 48 ⑤ 歯周ポケット細菌も制御する
- 48 症例Ⅲ-(5)-1 歯内歯周病変
- 48 症例Ⅲ-⑤-2 歯周疾患(下顎左側正中歯)
- 49 IV 患者にとってのLSTR 3Mix-MP療法
- 49 ① 患者にやさしい歯科治療
- 50 ② 患者の嫌がる歯科治療
- 51 V さらに細かい説明!
- 51 1. 疑問点?→「3Mix-MP療法は認められているの?」
- 51 2. 疑問点?→「3Mix-MP療法は従来法より優れている?」
- 52 3. 疑問点?→「薬剤を混合しても大丈夫?」
- 52 4. 疑問点?→「病巣は無菌化される?」
- 5. 疑問点?→「病巣は修復される?」
- 55 症例V-1 根尖部X線透過像の時間経過による推移



57 第2章 LSTR 3Mix-MP療法の基礎

- 58 I LSTR 3Mix-MPによる治療の適否の判断
- 58 (1) 禁忌: 3Mix-MPに過敏な患者
- 58 ② 適応症:
 - ①細菌が関与している歯科病変の治療
 - ②細菌を原因としない歯科疾患であっても二次的に細菌が関与している症状の解消
- 58 ③ 難しい症例: 3Mix-MPの密封が難しい症例
- 59 (4) インフォームド・コンセント (説明と同意)
- 60 **II LSTR 3Mix-MP療法の治療前にチェックする項目**
- 60 (1) 3Mix-MPに対する過敏のチェック
- 61 ② 口腔状況のチェック
- 62 咬合のチェックと咬合調整
- 65 ③ 知覚過敏への対処



- 67 ④ 診査
- 70 Ⅲ 3Mix-MP調薬法
- 70 (1) LSTR 3Mix-MP療法では、無菌化のための薬効が最重要事項
- 71 ② 薬剤効果を考慮した調薬・管理法―良好な臨床成果を得るために、厳密な薬剤の取り扱いが重要
- 72 ③ 3Mix-MPの調薬準備
- 76 ④ MP (基剤) の調剤
- 79 (5) 3Mix-MPの調製
- 81 IV 貼薬のための前処理 (充塡窩洞形成準備と浸透性向上のための歯面処理)
- 81 (1) 調薬前の患歯の処置
- 84 ② 歯面処理の処理材、機器
- 85 ③ 歯面処理法と適応症例
- 88 V 3Mix-MP貼薬法
- 88 (1) 3Mix-MPの貼薬の実際
- 93 ② 貼薬した3Mix-MPの密封
- 95 ③ 充塡物による密封―歯冠部の充塡・修復
- 97 VI 歯冠部の充塡・修復
- 97 (1) 3Mix-MP療法のための直接法CRインレー
- 102 ② 3Mix-MP療法のためのメタルインレー法
- 105 **VII 裏層・築造**
- 105 (1) 3Mix-MP療法における築造の考え方
- 108 ② 裏層・築造の材料と方法
- 109 ③ 裏層・築造の基本臨床手技
- 110 ④ 裏層·築造体の選択:フェルールの高さと築造体(基準値:2mm)
- 20 M 3Mix-MP療法後の経過観察と必要な処置



121 第3章 LSTR 3Mix-MP療法の臨床術式

- 122 I LSTR 3Mix-MP療法の実際
- 122 3Mix-MP療法手技内容の概念
- 125 II 症例ごとのLSTR 3Mix-MP療法の臨床手技
- 125 (1) 歯冠部のう蝕・歯髄炎病変

- 154 ② 根面う蝕―歯頸部のう蝕・歯髄炎病変
- 159 **③** 歯根部の3Mix-MP療法
- 182 症例II-(3)-1 根尖病巣(境界明瞭な歯槽骨吸収病巣)のある症例(Save療法で治療)
- 185 症例Ⅱ-③-2 顔面蜂窩織炎+びまん性歯槽骨吸収の症例
- 186 症例II-(3)-3 上顎側切歯の大きな歯槽骨吸収病巣(サラ療法で治療)
- 187 症例II-③-4 既根管治療歯で根周病巣(歯根膜腔拡大、歯槽骨吸収病巣)のある症例(Save療法で治療)
- 189 症例 I-(3)-5 従来法の「感染根管」 治療後も症状が改善しない症例 (根管が見つからない)
- 190 症例Ⅱ-(3)-6 過剰根管充塡
- 194 症例Ⅱ-③-7 2ヵ所穿孔
- 195 症例Ⅱ-③-8 根分岐部に穿孔
- 196 症例Ⅱ-③-9 深いポストの先で穿孔(歯根膜穿孔症例)
- 197 症例II-(3)-10 以前の治療で、根管内にリーマーの破片が残る症例
- 197 症例Ⅱ-③-11 充塡物が脱落した歯に根周病変(歯槽骨吸収病巣)
- 200 症例Ⅱ-③-12 上顎小臼歯の副咬頭損壊による歯髄死
- 201 症例 II-(3)-13 「8ヵ月前に充塡した歯が痛い」
- 202 症例Ⅱ-③-14 既充塡歯、顔面眼窩部腫脹+根管から排膿
- 204 症例Ⅱ-(3)-15 ポストを除去せず歯根治療
- 204 症例II-(3)-16 修復物のポストを残して歯根治療
- 206 症例Ⅱ-③-17 硬質レジン前装冠装着歯の歯根治療
- 207 症例Ⅱ-(3)-18 患歯の特定
- 208 症例Ⅱ-③-19 頸部顔面蜂窩織炎
- 213 症例II-(3)-20 根未完成歯の治療
- 215 ④ 歯内歯周病変(というより、深い歯周ポケットのある患歯の歯根の治療)
- 215 症例Ⅱ-(4)-1 根尖部の病巣と歯周ポケットが連絡
- 216 症例 II- 4-2 歯周ポケットの細菌が歯髄腔に侵入
- 216 ⑤ 乳歯の治療
- 220 症例Ⅱ-⑤-1 乳歯隣接面う蝕
- 221 症例Ⅱ-⑤-2 乳歯露髄症例
- 222 症例Ⅱ-⑤-3 乳歯根周病変
- 223 症例Ⅱ-⑤-4 乳歯からの蜂窩織炎
- 224 ⑥ 歯の破折症例
- 228 症例II-⑥-1 亀裂縦裂破折
- 230 症例Ⅱ-⑥-2 近遠心的縦裂破折(口内法:接着封鎖法)



- 231 症例Ⅱ-⑥-3 垂直破折(不完全分離型)234 症例Ⅱ-⑥-4 縦裂破折(完全分離型)
- 239 症例II-⑥-5 歯冠側破折片が脱落せずに安定している症例
- 241 (7) 歯の再植・移植治療
- 243 症例Ⅱ-(7)-1 自然脱落歯の再植
- 244 8 歯周疾患
- 247 症例II-(8)-1 根管内貼薬法 (3Mix-MPの内用法):参考治療例
- 249 症例Ⅱ-(8)-2 歯内歯周疾患:急性発作症例
- 249 症例Ⅱ-(8)-3 下顎前歯部の歯槽骨吸収病変
- 252 症例Ⅱ-⑧-4 再植
- 253 症例II-8-5 斜切痕による歯肉膿瘍
- 254 ⑨ 歯性上顎洞炎
- 254 症例Ⅱ-⑨-1 歯性上顎洞炎
- 255 ⑩ その他の口腔病変への応用
- 256 (1) 障害者の歯科治療



259 第4章 LSTR 3Mix-MP療法後の管理

- 260 **(1)** 3Mix-MP治療後のトラブル
- 265 ② 自らの治療の「再治療」を考える前にすべき対処
- 267 ③ 治療後も軽減しない症状への対処
- 271 4 意外と多い、咬合による傷害
- 272 ⑤ 瘻孔や腫脹がいつまでも残る
- 272 ⑥ X線陰影像がいつまでもある
- 274 ⑦ 着色した治療歯の漂白処置
- 275 8 待つことの大事さ
- 278 おわりに

Cover Design / T.Kaneko